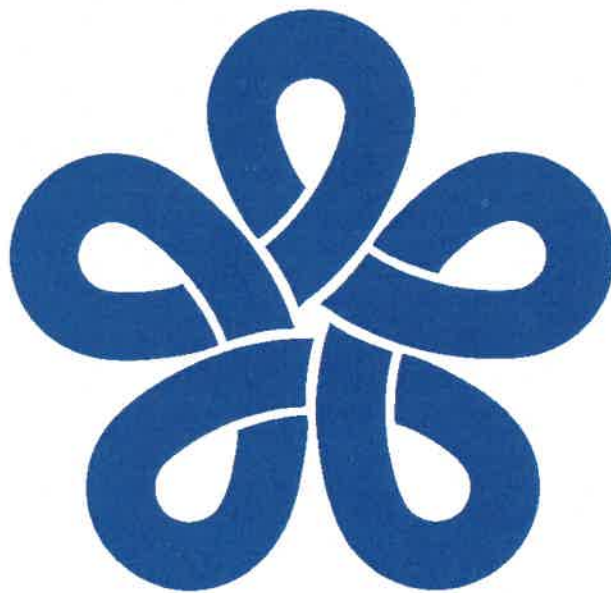


令和6年1月
福岡県議会バンコク都議会友好訪問団
報告書



令和6年1月24日～28日

福岡県議会

福岡県議会バンコク都議会友好訪問について

1 概要

福岡県議会とバンコク都議会は、平成19年(2007年)に友好提携を締結し、相互に隔年で友好訪問を行っている。

今年は、福岡県議会がバンコク都議会を公式訪問する年であり、友好提携を締結しているバンコク都議会のほか、バンコク都庁を訪問した。

福岡県議会訪問団は、香原 勝司議長を団長とし、蔵内 勇夫 九州の自立を考える会会長、松尾 統章 自由民主党福岡県議団会長、仁戸田 元氣 民主県政クラブ県議団会長代理、梶島 徳博 新政会福岡県議団会長及び事務局随員職員4名の合計9名の公式訪問団に加え、福岡県タイ友好議員連盟から15名の議員が参加した。

2 期間

令和6年1月24日(水)～28日(日)【3泊5日】

3 訪問団

福岡県議会 議長	香原勝司
九州の自立を考える会 会長	蔵内勇夫
自由民主党福岡県議会議員団会長	松尾統章
福岡県議会議員	仁戸田元氣
新政会福岡県議団 会長	梶島徳博
その他参加議員 15名	

随行者：議会事務局次長 ほか3名

※一部議員においては、福岡県・ハノイ市友好提携15周年記念等訪問終了後、24日以降にベトナム ハノイから25日にタイ バンコク入り

【1月24日（水）】

◎バンコク都議会による出迎え（15：40～）



（バンコク都議会の皆様から歓迎を受ける）

【1月25日（木）】

◎サイアムフレッシュエンタープライズ 視察（10：30～）

I. 概要

1. 日程

2024年1月25日（木）

2. 視察場所

・サイアムフレッシュエンタープライズ

3. 対応者

・サイアムフレッシュエンタープライズ
ウィパワリー・ワチャナピンヨー社長ほか

II. 目的

この表敬の目的は、ヨーロッパなどに向けてドライフルーツ等を輸出しているほか、福岡県産の柿の輸入を行っている農産物輸出入会社であるサイアムフレッシュ社を訪問し、同社の事業について説明を受けるとともに、今後の福岡県産農産物についての輸出入の可能性について協議するものである。



施設概要

2018 年首相最優秀タイ ブランド賞を受賞したサイアム フレッシュ エンタープライズ株式会社は、2003 年 12 月以来、最高級のタイの生鮮農産物を世界中の顧客に供給しているサービス指向のタイの生鮮青果輸出業者である。

食品事業分野における当社の急速な成長を促進するために、幅広い食品を提供する商社である Shengcai Oriental Co., Ltd. がサイアムフレッシュエンタープライズ株式会社の事業ポートフォリオに加わった。同社の製品には、缶詰の果物と缶詰の野菜、乾燥フルーツスナック、真空果物/野菜スナック、インスタントヌードル、カレーペースト、既製ソースなどが含まれる。

当社は 2003 年 12 月以来、オーストラリア、北アメリカ、ヨーロッパ、アジア、中東に至るまで、世界中の顧客にサービスを提供している。当社の主な顧客はヨーロッパの小売業者と流通業者である。

III. 視察内容

主にヨーロッパ向けにドライフルーツ等を輸出しており、福岡県産の柿の輸入を行っている農産物輸出入会社を訪問し、ウィパワリー・ワチャナピンヨー社長より事業説明を受けた。仁戸田訪問団長代理は、「福岡県も付加価値の高い農産物を海外に輸出するのは最大の課題です。フレッシュなフルーツのみならず、加工品をどうやったら海外に輸出できるかというところもご指導いただけたと思います。」と挨拶された。



(社長による事業説明)



(工場見学)



(記念品贈呈)



(会社の皆様との記念撮影)

※意見交換後、視察団は工場の衛生管理状況や加工工程を視察。当日は欧州向け製品のラインが通常よりも少ない曜日であったが、視察団に対し懇切丁寧な説明が行われた。福岡県が生産する果実等の輸出促進に向け、大きな示唆を得る視察となった。

<視察を受けての訪問団コメント>

タイ国はその温暖な気候の下、多くのフルーツが生産され、日本国内よりはるかに安価に提供をされている。また、現地で試食したが、マンゴスチンやドラゴンフルーツなど、日本ではほとんど目にすることのないフルーツも潤沢に生産されている。サイアム（＝シャム、タイ王国の古い呼び名）フレッシュという企業は、厳格な衛生管理の施された工場で、ドライフルーツ等を製造しており、そのシェアはタイ国内でも有数で、欧州方面への輸出も活発に行っているとのこと。会社関係者は、福岡を訪れた際、筑後地方の柿のおいしさに感動し、この柿をドライフルーツとしてタイ国内のみならず世界展開できないかとの思いを抱いたと、熱く語っていた。農産物の輸出拡大を目指す福岡県にとっても、そうした事業が軌道に乗れば極めてメリットのあることであり、県議会としても何らかの形でサイアムフレッシュの目指す事業の実現の支援ができるのではないかと考える。福岡県に戻って、県庁内の農林水産関連や国際関連の部局と協議を重ねるべく、準備を行っている。

◎第1 バンコク子供博物館 視察（14：00～）

I. 概要

1. 日程

2024年1月25日（木）

2. 視察場所

・タイ国バンコク都 バンコク子供博物館

3. 対応者

・子ども博物館 ジラダー・テーププピーン館長

II. 目的

日本と同様に少子高齢化の著しいタイ国、バンコク都において、少子高齢化対策の一環としての子ども施策についてどのように展開しているかを学び、日タイ相互に補完できる可能性について学ぶため、バンコク都の子どもたちのよりどころとなっている都営施設の拠点を視察するものである。

III. 視察内容

タイ国は、ASEAN 諸国のなかでは高齢化の進行が非常に早く、65 歳以上の人口比率は現在約1割程度ながら、2030年代には2割以上となる予想である。少子高齢化に歯止めをかけるため、バンコク都では子どもを重視した政策を展開しており、この子ども博物館もその一環として設立された。

人員構成は、バンコク都の職員である所長以下、プロジェクトマネージャー1名、現場職員90名、管理部門55名の総146人態勢となっている。担当者より、パワーポイントを使用して解説を受けた内容は以下のとおり。

開館時間は午前10時から午後4時で、月曜定休。建物内の面積は9,078平米、屋外施設8,548平米で、屋内には研修ルーム、映像シアターなどが常設されているほか、屋外には親水公園や、ロープを張り巡らした大規模なジャングルジムのような遊具も設置されている。アクティビティゾーンの総数は30以上となっている。

月ごとに一度、特別アクティビティを実施するほか、主に子どもの創造力を育むための様々なイベントを行っており、リピーターの獲得に寄与している。

タイでは1月13日を「全国子どもの日」としており、その日に合わせた特別企画も行っているとのことである。

以上の説明を受けたあと、館内外を視察。タイの歴史を、図などを使ってわかりやすく解説するエリアも設けられ、国への誇りや愛情を醸成する工夫も見られた。

子どもを大事にして少子高齢化に歯止めをかけようと、このような施設を運営する施策は、日本、福岡県での子ども施策においても大いに参考となるものであった。

施設概要

バンコク子供博物館は、チャトゥチャック公園にある体験型博物館である。遺跡で恐竜の骨を掘り起こしたり、巨大な泡を作ったりするなど、子供たちが一日中夢中になれる楽しくて教育的なアクティビティがたくさんある。好奇心旺盛な若者が自分で物事を理解するのに最適な場所であり、あらゆるものに触れたい小さな子供たちにとっても最適な場所である。

当館は、2001 年から運営されていたクイーン シリキット公園の一角にあり、シリキット女王陛下の王室の意向に基づいて設立された。9 年間の運営を経て、バンコク都庁により、現代的な学習コンセプト「ラーニング」を掲げて、博物館が改修された。このコンセプトは、子どもたちの発達と効率に応じてさまざまなインスピレーションを与え、適切な知識を選択して子どもたちの創造的な心を育む学習方法に焦点を当てている。

【チルドレンズ ディスカバリー ミュージアムの構成】

1. トール タウン ビル

半円形の 3 階建ての建物で、中央に大きく開いたホールがあり、1 階から 3 階は、7 歳から 12 歳までのお子様向けのクリエイティブ エリアと展示場である。

2. レインボー棟

脳や筋肉の発達期である様々な年齢層の子どもたちの発達を促進し、適切かつ安全な環境で子どもたちと保護者のための創造的な空間となることを考慮した 2 階建ての建物である。

3. ユニバーサルビルとユニリーバビル

さらに、適切な環境と安全なツールで学習スペースを開放し、子どもたちのスキルの発達をサポートする屋外展示も増えています。



(館長による概要説明)



(施設見学)



(職員の皆様との記念撮影)

<視察を受けての訪問団コメント>

上記の視察内容にも記している通り、タイ王国は少子高齢化問題に直面している。立命館大学国際関係学部の教授で社会学・地域研究の専門家である竹内隆夫氏の研究によると、タイ王国の2015年時点での合計特殊出生率は1.6で、2003年以降ほぼ横ばいの状態である。いっぽう老年人口比率は2003年の6.6%から9.7%に伸長しており、この傾向はさらに加速の度合いを増している状況である。結果として社会保障費や医療費の増大が財政を圧迫するという、日本と同様の傾向が強まっており、少子高齢化への対処が急務となっているわけである。

我々の訪れたバンコク都運営の子供博物館は、子育てしやすい環境づくりと、子どもを中心に据えた施策の展開の一環として整備されたものである。また、ワークショップの他に子育てに関する研究なども持続して行う施設であり、バンコク都の「本気度」を感じられる施設であった。本県においても少子高齢化は喫緊の重要課題である。本県内には各自治体の作る子育て支援施設があるが、そこで本施設のように子育て研究も一貫して行うようなユニークなものはすぐには見当たらない。今後の子ども施策にとって重要な示唆を与えてくれる視察であったと考える。ここで得た知見を、福岡県の子育て行政に反映すべく、行政側に提案・協議を行っていく。

◎バンコク都議会主催歓迎宴（１８：３０～）

バンコク都議会主催の歓迎宴が、クラウンプラザバンコククルムピニパークホテルにて開催された。

アムナート第二副議長からは、「福岡県議会とバンコク都議会が友好提携を締結して以来、17年間にわたり様々な交流を行い、両地域の友好関係を継続してまいりました。両地域の議会、また両都市が、今後も末永く緊密な関係が続くことを心より願っております。」と挨拶がなされた。

香原議長は、「我々訪問団にこれだけ盛大な歓迎宴を開いていただきましたことに、心より感謝申し上げたいと思います。今年バンコク都議会の皆様をまた、福岡の方に招聘したいと思っておりますので、ぜひとも福岡においでください」と挨拶を行った。

その後、タイの伝統舞踊が披露されるなど、和やかな雰囲気の中意見交換が行われた。



（アムナート第二副議長）



（タイ伝統舞踊が披露される）



（香原議長）



（参加者との記念撮影）

【1月26日（金）】

◎バンコク都議会議長 表敬訪問（10：30～）

I. 概要

1. 日程

2024年1月26日（金）

2. 視察先

・タイ国バンコク都 都議会

3. 対応者

・バンコク都議会 ウィラット・ミーンチャイアナン議長 ほか都議会議員

II. 目的

この表敬の目的は、福岡県議会と友好提携を行っているバンコク都議会を訪問し、今後の相互交流の内容や政策実現等について協議するものである。

III. 報告

冒頭、バンコク都議会のウィラット議長より、福岡県議会の香原議長や議員各位へ来訪の感謝が述べられた。福岡県議会の香原議長からは、議会同士の友好提携の歴史（2007年締結）を振り返った上で、今回の訪問を機に、今後より一層、福岡県議会とバンコク都議会の関係が緊密になり、発展をしていくよう願っている旨の挨拶が行われた。

その後の会談では、議会側からの要望として、今後バンコク都と福岡県の間で新たに結ぶMOU（Memorandum of Understanding）の内容について、議会側からは多くの要望が寄せられているものの、今後もうすこし絞った形で行っていくことが現実的であろうとの香原議長からの見解が示され、ウィラット議長もおおむね了解するといった意が示された。また、今後の相互訪問について香原議長より、ぜひ年内に福岡へおいでいただければ、などといった要請も行われた。その後も相互交流、また政策等について活発な意見交換が行われた。

バンコク都議会略歴

バンコク都議会議長

氏 名：ウィラット・ミーンチャイアナン
(Mr. Wirat Meenchainunt)

生年月日：1963 年 2 月 16 日

現 職：バンコク都議会議長

学 歴：チェンマイ大学理学部学士卒業
ラムカムヘン大学政治学修士課程卒業

職 歴：バンコク都ミンブリー区バンコク都議会の議員（4 代）



バンコク都議会第一副議長

氏 名：シャヤーダー ウィパットプーミプラテート
Ms. Chayada Vipattipumiprates

生年月日：1976 年 1 月 9 日

現 職：バンコク都議会第一副議長

選 出 区：カンナーヤーオ区、バンコク都

学 歴：シラー大学経営管理学部（英国）学士卒業
スタンフォード大学大学院経営学（EMBA）修士課程修了
クルーク大学大学院政治コミュニケーション学博士課程修了

職 歴：バンコク都議会第一副議長（2022 年 6 月～現在）



バンコク都議会第一副議長

氏 名：アムナート・パンプアック
Mr. Amnat Panphueak

生年月日：1969 年 1 月 28 日

現 職：バンコク都議会第一副議長

選 出 区：バーンケー区、バンコク都

学 歴：バンコクトンブリー大学公共経営学部学士卒業
バンコクトンブリー大学公共経営学修士課程卒業

職 歴：バンコク都議会第二副議長（2022 年 6 月～現在）



表敬内容

バンコク都議会のウィラット・ミーンチャイアナン議長を表敬訪問した。

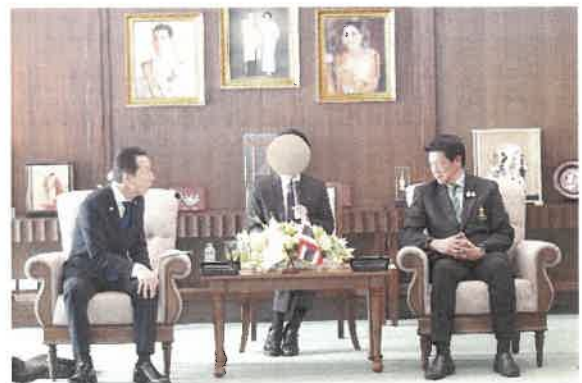
ウィラット議長は、「今回バンコク都議会を遠路はるばる訪問してくださった香原議長はじめ福岡県議会議員の皆様に、感謝申し上げたいと思います。皆様が今回滞在中に有意義な時間を過ごせること、また新たな知識や経験を得ることを心より願っております」と挨拶された。

香原議長は、「2007年に友好提携を締結し、バンコク都議会と福岡県議会の歴史というのは大変重く、伝統あるものだと思います。今日のこの会談を一つの契機として、福岡県議会とバンコク都議会の関係が新たな発展をしていくことを心より願っております。」と挨拶を行った。

その後、新たなMOUの締結や相互訪問について活発な意見交換が行われました。



(表敬の様子)



(ウィラット議長と記念品の交換)



(記念撮影)

<視察を受けての議員団コメント>

- ・ バンコク都議会と福岡県議会は、福岡県とバンコク都との友好提携関係の樹立を受け、翌年に福岡県議会とバンコク都議会との間で友好提携を結んで以降、現在に至るまで相互に密接な交流を行っている。具体的には、毎年交互に訪問団の招聘を行って互いの国で交流・意見交換を行い、その結果として

互いの自治体における行政課題を共有して課題解決のための施策を両議会が提案しながら展開していくこと、他には互いの自治体の民間交流の促進などを行っていくことである。西暦年の下一桁が偶数年には、バンコク都議会の招聘により、福岡県議会の訪問団がバンコクを訪れており、今回の表敬もその一環である。遠く離れた土地にありながら、互いの行政課題を知り、協議を重ねながら課題解決を図っていくためには、両議会の一人一人が顔の見える関係であることは極めて重要である。軍事クーデター、新型コロナウイルス感染症拡大という困難な時期もあったが、こうして表敬と交流が復活したことは喜ばしい限りである。

- ・ 今回の表敬においては、両議長がワンヘルスの促進に係る MOU のあり方に関し、その具体的な内容についての踏み込んだ議論を行った。この協議を基に、近く両議会との間で MOU の締結調印を行う運びとなった。また、併せてバンコク都と福岡県との間でもワンヘルスの促進に関する MOU が取り交わされることとなる。人と動物、環境の健全性を一体として考え、その改善の為に取り組むワンヘルスの重要性は、人獣共通感染症である新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、改めてクローズアップされた。その促進に係る MOU の締結は、バンコク都、福岡県双方の保健衛生関連行政にとって重要な契機となることと考える。本格締結に向け、両議会ですっかりと準備を重ねていきたい。

◎バンコク都知事表敬訪問（１５：００～）

I. 概要

1. 日程

2024年1月26日（金）

2. 表敬先

・タイ国 バンコク都 都庁舎

II. 目的

この表敬の目的は、チャチャート・シティパン都知事を表敬し、福岡県とバンコク都との友好関係を確認することと、今後結ぼうとしている MOU についての内容を確認するためのものである。

III. 報告

冒頭、チャチャート都知事は非常に年季の入った庁舎について触れ、改修中のため一部のエリアが使えないことなどの説明があった。その後、福岡県とバンコク都についての過去の文化や青少年等の交流活動について言及し、今後、経済や商業関係における協力も進めていきたいと述べた。

福岡県議会の香原議長は、福岡県議会とバンコク都議会、福岡県とバンコク都の4者で新たなMOU（覚書）を結ぶ協議を今後進めていくことと、MOU の内容に関しては、項目数などについて双方の見解に隔たりがあるとして、協議を細かく行っていく必要性を示した。

その後の協議では、双方の知事を含めた相互交流をさらに活発化していくことなどが話し合われた。

会議後、都庁舎の中庭を都知事みずから案内し、以前福岡県議会側が植樹した桜が枯れてしまったことなどの説明があった。

バンコク都概要

人口：5,471,588 人（2023 年）

面積：1568.737m²（都市圏人口は2018年時点で1600万人超）

世界有数の大都市圏を形成している。ASEAN 経済の中心地で、東南アジア屈指の世界都市でもある。

タイの王宮や政治の中枢機関が集中しているだけでなく、交通と宿泊施設の整ったバンコクは多くの各国要人を招き、アジアで2番目に多くの国際会議が開かれる都市であり、政治的に多大な影響力を持つ。

（外務省 HP より引用）

バンコク都知事略歴

姓名

チャチャート・シティパン (Chadchart Sittipunt)

生年月日

1966 年 5 月 24 日

学歴

- ・アメリカ合衆国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 (UIUC) 博士号 土木工学 (構造)
- ・アメリカ合衆国マサチューセッツ工科大学 (MIT) 修士 土木工学 (構造)
- ・チュラロンコーン大学 修士 経営学
- ・チュラロンコーン大学 学士 土木工学 (首席卒業)



職歴

- ・Quality Houses Public Company Limited の元取締役、取締役社長 (2015-2018)、リスク管理委員会委員長
- ・Land and Houses Public Company Limited の元独立取締役、監査委員、指名・報酬委員、リスク管理委員会委員長
- ・Aeronautical Radio of Thailand Ltd. の元取締役、Mass Rapid Transit Authority of Thailand の元取締役、The Transport Company Limited の元取締役
- ・チュラロンコーン大学の元大学総長資産管理補佐
- ・チュラロンコーン大学の元工学部教員
- ・Skidmore, Owings & Merrill (SOM) の元構造エンジニア

政治歴

- ・インラック政権下で運輸大臣を務めた (2012-2014)。
- ・タイ貢献党に所属していた 2019 年の総選挙時、首相候補に指名されたが辞退。
- ・無所属で出馬した 2022 年 5 月の選挙で、前バンコク都知事アサウィン氏などを破り、バンコク都知事に初当選。

表敬内容

バンコク都のチャチャート・シティパン都知事を表敬訪問した。

チャチャート都知事から庁舎の紹介とともに、「福岡県とバンコク都は青少年や環境等、様々な交流活動を行ってきましたが、これからは経済関係、ビジネス関係の協力も深めたいと考えております。」と挨拶がなされた。

香原議長は、「我々福岡県議会とバンコク都議会、そして福岡県とバンコク都、もう一度この4者で、新しいMOUを結ぶ協議を始めていこうという話をさせていただこうと思っております。今回のこの訪問を一つの契機として、また新しい代へ向けて共に、世界のために、そして我々の地域の発展のために、みんなで力を合わせてやっていけることを心より願っております。」と挨拶された。

その後の歓談では、新たなMOUの締結や、両都市の今後の交流のあり方について意見交換が行われた。



(表敬の様子)



(都知事と記念品の交換)



(記念撮影)

◎バンコク都主催送別宴（１８：３０～）

バンコク都議会主催の送別宴が、クラウンプラザバンコクルンピニパークホテルにて開催された。

香原議長は、「我々は、先輩方が作っていただいた流れを止めることなく、これからはしっかりと交流を続けていかななくてはなりません。コロナを終えた中で新しい時代に入ってまいります。福岡県、そしてバンコク都、福岡県議会、そしてバンコク都議会で一緒になって、MOUを新しいステージに上げていきたいと考えておりますので、皆様方のご理解、ご協力を心よりお願いします」と挨拶を行った。



（香原議長）



（送別宴の様子）

<視察を受けての議員団コメント>

- ・ バンコク都と福岡県は、先に訪問したバンコク都議会と福岡県議会同様、ワンヘルスの促進に係る MOU 締結に向け準備を進めている最中である。締結の際には、服部知事とともにバンコク都を訪れる運びとなる。今回は締結内容についての作業の進捗について、双方で齟齬が生じていることが明らかとなった。書面でのやり取りではどうしても細かい部分の整合性チェックなどが十全でない場合もあり、こうして直接ひざ詰めで打ち合わせることの重要性について改めて認識したところである。訪問の最後には、多忙な知事が自ら都庁舎の中庭を案内してくださり、かつて福岡県が贈って植樹したソメイヨシノが枯れた、という跡地を残念そうな表情を浮かべながら解説してくださった。その他、表敬中の会話の端々に福岡県への強いシンパシーが感じられ、都知事のそうした思いに応えるべく、今後も関係を深化させていくことの重要性を感じた次第である。
- ・ 11 月にはバンコク都で福岡フェアが開催される予定である。知事が表敬中に香原議長に語った「今後、経済や商業関係における協力も進めていきたい」との思いが形になる一つの契機として、服部知事をはじめとした公式訪問団でその様子をしっかりと目の前で祝いし、発展させるべき部分は提言をしながら発展させていきたいと考えている。

【1月27日（土）】

◎セントラルワールド 日本マーケット視察（10：30～）

I. 概要

1. 日程

2024年1月27日（土）

2. 視察先

タイ国バンコク都ラチャプラソン セントラルワールド 日本マーケット

II. 目的

この視察の目的は、タイ国における日本製品の展開について現状を確認し、今後の経済的交流や福岡製品の展開について学ぶことである。

III. 報告

バンコク都でも有数の大型ショッピングモール、セントラルワールド4階に、日本の加工食料品や生鮮食料品、飲料等を常備した「日本マーケット」が2022年にオープンし、地元の方々に利用されてきた。棚には日本でおなじみのインスタントラーメンや日本茶、焼酎、食料品などが並んでおり、日本国内のスーパーマーケットにいるかのような錯覚を覚える。タイ国内の食生活における日本のブランド力は高く、タイ製品にもデザイン上で日本語を配したものも数多くみかけられるほどである。とりわけ、最近では日本のウイスキーの人気の高さが、円安でありながら「響」「山崎」といったウイスキーにはプレミアがついて、日本円に換算しても非常に高価である。日本産製品のタイ王国におけるブランド力の高さを感じつつ、福岡県産品のさらなる周知の必要性について学んだ視察であったが、後述するように、この日本マーケットは縮小傾向にあり、今後の存続や維持、さらには拡充を図っていくには何らかの施策を行う必要があるのではないかとこの意見を持つ訪問団員もいたことを報告する。

【施設概要】

バンコク市中心地に位置する大型ショッピングプラザ、ホテル、オフィスタワーなどの複合施設。その中にある「日本マーケット」は2022年に開業。

この日本マーケットでは、日本全国の緑茶や和菓子、1,000種類以上の日本酒などが販売されている。

馴染みのある日本の食材が多くみられ、タイでも高い評価を受けていることを現地で確認した。



(視察の様子)

<視察を受けての訪問団コメント>

この日本マーケットについては、2022年10月に民主県政県議団を中心としたタイ友好議員連盟訪問団で視察を行っている。しかしその際に比べると、商品数が印象として2～3割程度減っていたのはたいへん残念であった。これは日本マーケットというエリアの集客の減少によるものではないかと危惧される（実際、前回の訪問時よりも明らかに買い物に訪れる客の数が減っているように感じられた）。バンコク都内を移動していると、日本語の看板や商品は頻繁に見受けるほか、明らかにタイ王国独自の国内製品と思われる商品のパッケージデザインにもカタカナや平仮名が書かれているなど、さすが世界有数の親日国と思われることがこの訪問中にも多々あっただけに、売り場の縮小はもったいない事態である。

今後、この日本マーケットを維持していく、あるいは拡充していくにあたっては、大幅なテコ入れの必要性があるものと感じられた。福岡県バンコク事務所などを通じ、日本マーケットを設置しているこのセントラルワールドに対して積極的な働きかけや、必要ならば支援などを行っていく必要性があるのではないかと感じた次第である。福岡県知事部局の国際関連部局と協議しながら、具体的にできることがないか探っていきたい。

◎タイ国福岡県人会及びタイ福岡 OB 会との意見交換会（18：00～）

I. 概要

1. 日程

2024 年 1 月 27 日（土）

II. 目的

タイ国に駐在の福岡県人の方々と作る「タイ国福岡県人会」および、過去において福岡県に留学や在留経験のあるタイ人の方々と作る「タイ福岡 OB 会」の方々と訪問団とが交流を行い、現地における事業の状況やタイから見た福岡県の印象等について意見を交わすことで、今後のタイと福岡県の交流の参考とさせていただくためのものである。

III. 交流内容

【発言要旨】

■香原 福岡県議会議員

・皆様には、平素より福岡県とタイとの交流のため、たいへん大きな役割を果たしていただいていることに感謝を申し上げます。引き続き、両国の友好関係への協力をお願いしたい。

■タイ国福岡県人会 会長

・タイにおける福岡の存在は大きい。県人会も歴史を重ね、新たな方々も名を連ねていただいている。月に一度の交流会、ならびに定期的なゴルフコンペ等、活動も非常に活発だ。今後も、タイと福岡県の懸け橋として、タイ福岡 OB 会とも、活動を続けていきたい。

■タイ福岡 OB 会 会長

・福岡県には研究のため滞在していた。これからもこうした活動をつづけ、タイと日本、福岡との交流の促進の一助となるようにしていきたい。

その後、各テーブルに分かれて、訪問団はタイ福岡県人会やタイ福岡 OB 会の方々と交流を行い、タイ国におけるビジネスの現状や、タイのエネルギー事情、近隣国との関係、今後のビジネス展開等について意見を交わした。

終了後、訪問団はホテルをチェックアウトして空港に向かい、出国手続きの後、現地時間午前 1 時発の TG648 便にて帰国の途に着いた。

タイ国福岡県人会概要

設立：1982年

会員数：約700名

その他：【主なイベント】

企業親睦会（年1回）

船上パーティ（年1回・12月）

懇親会（9月を除く奇数月の第1水曜日）

タイ福岡OB会概要

設立：2014年

会員数：約80名

タイ政府や大学、日系企業で勤務している方々

その他：福岡県への留学や勤務経験などがある方々によるOB会



（意見交換の様子）

意見交換内容

香原議長は、日頃から福岡県とタイとの交流の架け橋として、大きな役割を果たしていただいている、県人会・OB会の皆様へ感謝の言葉を述べられ、引き続き両国の友好関係に協力を依頼した。

また、県人会会長による挨拶、OB会会長による挨拶があった。和やかな雰囲気の中、意見交換が行われ、皆様との交流を深めることができた。

<訪問団団長 総括>

このたび、福岡県議会タイ王国公式訪問団の団長として、2024年1月24日から28日までの日程でバンコク都を訪問し、バンコク都議会及びバンコク都をはじめ、多くの関係機関・団体の皆様との交流を行った。

今回の訪問では、長年にわたり友好提携関係を築いてきたバンコク都議会との会談を通じ、相互理解と信頼関係をさらに深めることができた。福岡県議会とバンコク都議会は2007年の友好提携締結以来、継続的な交流を重ねてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響を経て、再び対面で活発な意見交換が実現したことは大変意義深い。会談では、ワンヘルスの推進に関する覚書（MOU）の内容について具体的な協議を行い、今後の締結に向けて双方が連携して取り組む方向性を確認した。人と動物、環境の健康を一体的に捉えるワンヘルスの理念は、今日の国際社会においてますます重要性を増しており、本県とバンコク都がその推進に向けて協力関係を築くことは大きな意義を有するものと考えている。

また、チャチャート・シティパン都知事との会談では、これまでの文化・青少年交流に加え、経済や商業分野における協力の可能性について率直な意見交換を行った。双方の認識の違いを確認しながら課題解決に向けて協議を進めることの重要性を改めて認識するとともに、今後の交流拡大への強い期待を共有することができた。

視察においては、サイアムフレッシュエンタープライズを訪問し、福岡県産農産物の輸出拡大や高付加価値化に向けた可能性について多くの示唆を得た。特に、本県産柿の加工品としての海外展開に対する高い関心は、農業分野における新たな連携の可能性を感じさせるものであった。また、バンコク都子ども博物館では、少子高齢化という共通課題に対し、子どもを中心に据えた施策や研究活動が展開されていることを学び、本県の子育て支援施策を考える上でも貴重な知見を得ることができた。

さらに、タイ国内における日本製品の流通状況の視察や、タイ国福岡県人会、タイ福岡OB会との意見交換を通じて、福岡県に対する高い評価と親近感を実感した。現地で活躍する県人や福岡ゆかりの方々が、長年にわたり両地域の架け橋として重要な役割を果たしてこられたことに深く敬意を表したい。

今回の訪問を通じて、福岡県とタイ王国、そして福岡県議会とバンコク都議会との関係は、友好交流の段階から具体的な政策連携や経済交流へと発展する新たな局面を迎えていることを強く感じた。今後とも議会外交の役割を十分に果たしながら、県民の利益につながる交流の深化と相互発展に向けて取り組んでいくことをここに申し上げ、今回の訪問の総括とする。

福岡県議会バンコク都議会友好訪問 行程

	月日	時間	交通手段	行 程
1	1月24日 (水)	11:40 15:40 17:00 18:30	TG649	福岡空港発 バンコク・スワンナプーム国際空港着 ホテル チェックイン バンコク都議会元議長等との交流会 (クラウンプラザホテル泊)
2	1月25日 (木)	10:30-11:30 12:00-13:00 13:30 18:30		サイアムフレッシュエンタープライズ 視察 昼食 バンコク子供博物館 視察 バンコク都議会主催 歓迎宴 (クラウンプラザホテル泊)
3	1月26日 (金)	10:30-11:30 12:30-13:30 15:00-16:00 17:00 18:30		バンコク都議会表敬訪問(新庁舎) 昼食 バンコク都知事表敬訪問(旧庁舎) ホテルへ戻る バンコク都議会主催 送別宴 (クラウンプラザホテル泊)
4	1月27日 (土)	10:00-11:00 12:30-13:30 14:30-16:00 18:00-20:00 21:30 22:00 23:00		セントラルワールド(日本マーケット) 視察 昼食 フアタケー水上マーケット 視察 タイ国福岡県人会・タイ福岡OB会との懇談会 チェックアウト ホテル出発 バンコク・スワンナプーム国際空港着
5	1月28日 (日)	1:00 8:10	TG648	バンコク・スワンナプーム国際空港発 福岡空港着

TG:タイ国際航空